



平成22年3月30日（火）
国土交通省 関東地方整備局
関東技術事務所

記者発表資料

《TSを用いた舗装工事の出来形管理》

「活用サポート情報ホームページ」を開設しました

～情報化施工の推進に向けて～

関東地方整備局では、舗装工事の出来形管理作業及び監督・検査の効率化と合わせて、現道工事の交通規制時間短縮や作業安全性の向上を図るため、ノンプリズム方式TS(※)を活用した「施工管理データを搭載したトータルステーション(TS)を用いた出来形管理要領(案)【舗装工事編】平成21年8月 関東地方整備局」を公表し、導入・普及のための検討・取り組みを行っています。

関東技術事務所では、舗装工事の施工者・発注者や機器等の研究者・開発者向けに、導入・活用にあたって参考となる情報や当事務所が実施している調査・検討結果等を提供することを目的として、活用サポート情報ホームページを開設しました。

主な掲載内容は以下のとおりです。

- ・ TS出来形管理の特徴とメリット
- ・ TS出来形管理に関するQ&A及び質問受付
- ・ TS出来形管理要領等の関係基準・マニュアル
- ・ 調査・検討結果や取り組みについての最新情報

【活用サポート情報HP】

URL：<http://www.ktr.mlit.go.jp/kangi/ts/index.htm>

(※) ノンプリズム方式TS：TSが測定位置を自動で視準し、レーザー光が直接路面等の測定点を照射し、位置や高さ等の測定値(3次元座標値)を算出する方式。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 埼玉県政記者クラブ 横浜海事記者クラブ
神奈川県建設記者会 千葉県政記者クラブ 松戸記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 関東技術事務所
副所長(技術) 唐澤 則次(からさわ のりつぐ) TEL 047-389-5124
技術情報管理官 清水 信男(しみず のぶお) FAX 047-389-5159

▶ サイトトップ

《TSを用いた出来形管理》舗装工事 活用サポート情報 — 情報化施工による舗装工事の効率化 —

国土交通省では、工事目的物の品質確保、施工の省力化によるコスト縮減等の効果が期待できる情報化施工技術を標準的な技術として普及を図るための各種取り組みを進めています。

関東地方整備局では、舗装工事の出来形管理作業の効率化と合わせて、現道工事での交通規制時間短縮や作業安全性の向上を図るため、ノンプリズム方式TSを活用した「TS出来形管理要領(案)【舗装工事編】H21年8月 関東地方整備局」を策定し、試行運用を開始しました。

この活用サポート情報では、舗装工事の施工者や発注者、機器等の開発者向けに、工事施工への導入や活用にあたって関東技術事務所が実施している検討内容や参考となる情報を掲載しています。

トピックス
OR
最新情報

TSを用いた出来形管理に関する公表内容や現場見学会、説明会等の最新情報を掲載しています。

▶ 活用サポート情報メニュー

過去分一覧

- H21.12.09 [見学会の開催結果レポートを掲載\[PDF/498KB\]](#)
- H21.12.03 [【記者発表】試行工事の実施と見学会の開催\[PDF/1.14MB\]](#)
- H21.08.27 [【記者発表】「TS出来形管理要領\(案\)舗装工事編」の公表と事務所通知、業団体への通知\[PDF/2.78MB\]](#)

TS出来形管理の
特徴と導入メリット

Click!

TSを用いた出来形管理とは何か、また工事に導入した際のメリットは何かなどを説明します。

質問受付

Click!

TSを用いた出来形管理の導入、活用に関して疑問点等にお答えします。

※質問は舗装工事のTS用いた出来形管理についての質問に限定させていただきます。

出来形管理要領、
基準類

Click!

TSを用いた出来形管理を実施するための手順等を示した出来形管理要領やソフトウェア要求仕様書等を掲載しています。(ダウンロードできます)

関連情報

Click!

TSを用いた出来形管理に関する疑問点、参考事項等をQ&A形式で掲載しています。

TS出来形管理に
関するQ&A

Click!

TSを用いた出来形管理に関する疑問点、参考事項等をQ&A形式で掲載しています。

↑ ページの先頭へ

TS出来形管理の導入による主なメリット

車線規制時間の短縮

交通を確保しながら、歩道等から工事測量や出来形計測が行え、車線規制の不要または短縮が可能となる。



路面の縦横断測量状況



出来形計測状況

出来形計測作業の省力化・効率化

TSによるワンマン計測、自動計測機能により、工事測量、出来形計測作業の労力削減、時間短縮が図られる。



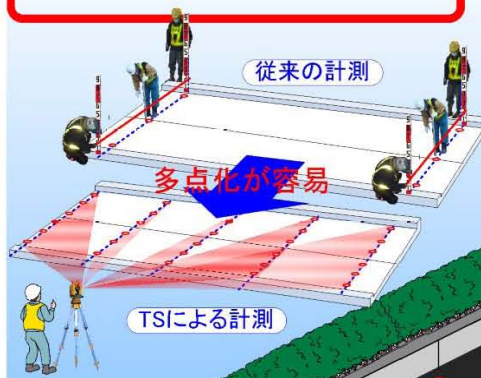
従来の水系・巻尺による計測状況



直接計測点を自動計測

レーザー光

出来形品質の均一化



従来の計測

多点化が容易

TSによる計測

施工中の出来形計測・良否判定や出来形計測点の多点化管理が容易に可能となり、出来形品質の均一化が図られる。

路面を直接計測

自動記録と良否判定

出来形把握が容易

自動視準
自動計測

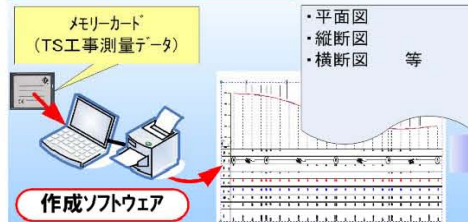
監督職員

施工者

出来形管理用TS

施工中も測定可能

舗装計画図面等の自動作成



メモリーカード
(TS工事測量データ)

- ・平面図
- ・縦断面
- ・横断面

作成ソフトウェア

出来形管理資料の自動作成



メモリーカード
(TS出来形計測データ)

- 出来形管理資料
- ・計測結果一覧表
- ・出来形管理図表
- ・出来形管理図
- ・度数表

出来形帳票作成ソフトウェア

内業の効率化

工事測量による舗装計画図面等の作成や出来形計測結果の出来形管理資料作成に係るデータの記帳・入力作業が自動で行え、ミスの防止、内業の大幅な縮減が図られる。

計測作業の安全性向上

歩道等からの工事測量や作業帯外からの出来形計測が可能となり、交通事故や重機災害の未然防止につながる。